

お知らせ

平成 24 年 11 月 1 日

市光工業株式会社

ICK1207

市光工業株式会社 タイの新工場・テクニカルセンターが完成、開所式を挙 行 ～約 40 億円を投じ、来年 3 月より自動車用ランプの本格量産を開始～

大手自動車部品メーカーの市光工業株式会社（本社：神奈川県伊勢原市板戸、代表取締役社長：ORDOOBADI Ali、以下 市光工業）の生産子会社である市光タイランド株式会社（所在地：タイ王国ラヨン県アマタ市、代表取締役：井関 宏和、以下 市光タイランド）では、このほど新工場・テクニカルセンターが完成し、昨日 10 月 31 日、開所式を挙りました。

タイの新工場は、タイのラヨン県アマタ・シティ工業団地内の 6 万平方メートルの敷地に、延べ床面積 2 万 2 千平方メートルの建屋を擁し、市光工業の基幹工場である伊勢原製造所に次ぐ規模を誇る、同社の海外拠点の中では最大の製造所です。市場が拡大する東南アジアにおける同社の今後の成長を担う基幹工場として、市光工業が約 40 億円を投資し新設したもので、2013 年 3 月より、自動車用のヘッドランプ及びリアコンビネーションランプ、ミラーの本格的な量産を開始する予定です。同拠点には、最新の生産設備を導入しているほか、テクニカルセンターが併設され、現地での製品開発・設計が可能です。

市光工業は、このタイの新工場・テクニカルセンターから今後、国内外の自動車メーカー各社のタイ拠点に製品を供給し、成長著しい東南アジアにおける同社グループの売上を戦略的に拡大させる計画です。また、現地化により製品開発の効率化を図り、コスト競争力を強化していきます。同社は、現地での自動車生産の増大に応じて受注を拡大し、2015 年にはタイでの売上高 50 億円を目指します。

なお、市光タイランド及び新工場・テクニカルセンターの概要は別記の通りです。

(参考)

<市光工業とは>

市光工業株式会社は、1903年に創業した、自動車用ランプ、ミラー、その他自動車部品の開発、設計、製造、販売を行う専門メーカーです。1932年には初代ダットサンにヘッドランプを装着し、日本初のプロジェクターヘッドランプや世界初の電動格納式ドアミラーを製品化、現在も電気自動車「日産リーフ」に搭載された超低消費電力LEDヘッドランプなど独自の製品開発を行っています。トヨタや日産をはじめとする国内全ての自動車メーカー及び海外メーカー、アフターマーケット向けに製品を供給しています。市光グループは、国内にテクニカルセンターを含め11カ所の拠点、中国やマレーシア、インドネシア、タイ等アジアに5つの海外拠点を有し、総従業員数は4,941名(2012年3月末現在)です。国内において、自動車用ランプで約20%、ミラーで約15%の市場シェアを、世界でも、2000年より資本・業務提携している仏ヴァレオ社と合わせて約20%の自動車用ランプの市場シェアを誇っています。

<市光タイランドとは>

市光タイランド株式会社(英語名: ICHIKOH INDUSTRIES (THAILAND) CO., LTD.)は、2008年8月、市光工業の東南アジアにおけるインドネシア及びマレーシアに次ぐ3番目の海外生産拠点として設立されました。これまで同社は、仏ヴァレオ社のタイ拠点内にて運営されてきましたが、生産の拡大に伴い、この度新設した新工場・テクニカルセンターに移転することになりました。

<本件に関するお問い合わせ先>

一般の方からの問い合わせ先

市光工業株式会社
広報担当 金子
TEL: 0463-96-1442

報道関係からの問い合わせ先

(株)VAインターナショナル
亀有/田中/河野邊
TEL: 03-3499-0016
FAX: 03-3499-0017

タイの新工場・テクニカルセンター 概要

- 会社名： 市光タイランド株式会社
(英語名：ICHIKOH INDUSTRIES (THAILAND) CO., LTD.)
- 所在地： タイ王国 ラヨン県 アマタ市 (アマタ・シティ工業団地内)
- 代表取締役： 井関 宏和
- 敷地面積： 59,523 平方メートル
- 延べ床面積： 21,786 平方メートル
- 従業員数： 141 名 (2012 年 10 月 31 日現在)
(2013 年 3 月までに 167 名に増員予定)
- 総投資額： 約 40 億円 (土地、建物、工場設備を含む)
- 生産開始： 2013 年 3 月 (予定)
- 生產品目： 自動車用ヘッドランプ、リアコンビネーションランプ、ドアミラー



タイの新工場・テクニカルセンター



開所式におけるテープカットの様様